

## 街の盛り上げ策 若者目線で

半田で「マチプロ」 日福大生の案を審査

日本福祉大生が考案した半田市中心市街地の活性化策を審査するコンテスト「マチプロ」が26日夜、同市広小路町のクラシティであった。優れたアイデアを提案したグループには、プランの実行予算として15万円が贈られた。

市創造・連携・実践センター「ココロリン」(南末広町)の指定管理を担う一般社団法人「はんだのたね」が主催。若者目線に立った商店街の盛り上げに向けて、地域貢献に取り組む社会福祉学部1、2年生約40人が参加した。6グループに分かれ、今夏からフィールドワークを重ねてプランを練り上げた。

地元の店主や市職員ら8

人が審査員を務め、プレゼンの内容を評価した。結果、街中に商店街の逸品を紹介するブラックボード(看板)

を設置し、誘客につながるプランを提案したグループが、最優秀に選ばれた。次点を加えた上位3グループには、それぞれ15万円が贈呈された。来年度以降、賞金を原資としてプランを実践していく。(山岸弓華)



審査員の前で活性化プランを発表する学生 半田市広小路町のクラシティで